

## 三重県地域がん登録について

みなさん、こんにちは。三重県地域がん登録の福留です。群馬県で開催された地域がん登録全国協議会第24回学術集会の参加直後にこの原稿を書いています。学術集会では、がん登録法施行直前の最新情報や、ポスター発表等でがん登録情報の活用に関するさまざまなヒントを頂き、今後の活動に大いに参考となりました。学術集会を主催していただいた、猿木会長をはじめ群馬県の皆様に心より感謝いたします。

さて、三重県がん登録室は三重大学医学部附属病院がんセンター内に設置されていますが、2015年5月に新築された外来棟に移転しました。登録室の移転にあたり、我々が要望した点は、(1)登録データを長期間安全に保管するためのサーバー保管場所(設計当初では全国がん登録の概要が不明でした)(2)登録実務を行うために必要な広さと個人情報を取り扱う場として相応しいセキュリティを確保した登録室でした。

実は、附属病院の新築計画により登録室の移転はこれが3回目です。これまでの登録室も、独立した部屋に設置され、必要最小限の安全性は確保されていましたが、もともと別用途の部屋を簡単に改装して用いたため、個人情報の保管場所としては十分とは言えない部分があり、さらに、サーバーが登録室内に設置されていたため、火災やスプリンクラーの誤作動によるサーバーの破損等の不安がありました。新登録室は、ともに移転したがんセンター内にある独立した部屋で、入室を許可された者がIDカードを用いて入室するようになり、入退出管理も含めてセキュリティが大幅に向上しました。また、がん登録データサーバーについても、当院のコンピューター保管室の一角を確保することができ、火災や地震、水災、盗難等に対する不安はなくなりました。外来棟完成前に全国がん登録の概要が明らかとなったため、専用回線の設置に対応することもできました。毎年増加していく紙の届出票や死亡票を保管するため可能な限り保管棚を増設しましたが、全国がん登録ではデータ提出が主となる



三重県地域がん登録室の様子

方向となり、保管スペースに関する不安はなくなりました。同じがんセンター内の地域がん登録室の隣には、都道府県がん診療連携拠点病院である三重大学医学部附属病院の院内がん登録室が設置されています。院内がん登録実務者が、配置換えにより地域がん登録室の実務者に加わったり、院内がん登録実務者と協力して、地域がん登録への新規登録実務者に対する研修会を行ったりと、お互いの独自性を保ちつつ、連携・協力してがん登録を行う体制を作りやすい環境があることが、三重県地域がん登録の大きな支えになっています。

三重県がん登録室は2011年の開設より5年目を迎えました。昨年には2011年全国がん罹患モニタリング集計に参加し、ようやく皆さまの仲間入りを果たすことができました。登録精度の向上やデータの活用など課題はたくさんありますが、登録室のスタッフとともに解決していきたいと思っています。今後とも全国の皆様のご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。



## 三重県

三重県地域がん登録室  
福留 寿生

登録室ご紹介